

他大学との併願が可能。

専願制入試ではありません。国公立大学や他の私立大学との併願が可能です。

調査書・英語資格検定試験が活かせる。

高校の調査書の点数(全体の学習成績の状況)が10倍に得点化される「スタンダード方式」と、英語資格検定試験のスコアが得点化される「英語資格試験利用方式」があります。

1日の試験で最大6併願できる。また複数日受験が可能。

入試方式と学部・学科・課程・専攻・領域を組み合わせると、1日の試験で最大6回の合否判定を受けることができます。

高等学校の教科書に沿った基礎・基本を重視した内容。

出題の傾向と対策は過去問題集を活用してください。

英語資格検定試験得点換算表 ※2024年4月1日以降に受験したものに限り(スコアは下限)。

- 英語資格を利用する入試では、出願時に資格(スコア)を証明する資料の提出が必要です。英検(実用英語技能検定)の場合、「デジタル合格証明書」または「デジタル英検CSEスコア証明書」をUCAROでの出願登録時にWebサイト上で提出いただきます。その他の英語資格の場合、合格証・スコアシート等の写しを郵送で提出いただきます。詳しくは、P.60～P.61をご確認ください。
- 英語資格試験利用方式では、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点、英語資格検定試験の点数(100点満点)(スコアを得点換算したもの[下表])の合計点をもとに総合的に合否判定します。

実用英語技能検定試験の合否に関わらず、指定された級を受験したCSEスコアで得点換算します。

得点	実用英語技能検定 (英検®CSEスコア)	GTEC	ケンブリッジ 英語検定	IELTS™	TEAP (4技能)	TEAP CBT	TOEFL iBT®	TOEIC® L&R TOEIC® S&W
100点	2,300点(準1級以上受験)	1,180点	160点	5.5	309点	600点	72点	合計1,560点
90点	2,150点(2級・準1級受験)	1,050点	150点	5.0	267点	510点	56点	合計1,360点
80点	1,950点(2級・準1級受験)	930点	140点	4.0	225点	420点	42点	合計1,150点
70点	1,850点(2級受験)	810点	130点	-	195点	355点	-	合計1,000点

※実用英語技能検定は、英検S-CBT®、英検®S-Interviewを含む。
(英検IBA®・英検プレテスト®は除く。)

※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TEAPは4技能すべてを受験した場合に限る。

※TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※TOEIC®は、L&R IPテスト・IPオンラインテスト、S&W IPテスト・IPオンラインテストは除く。

TOEIC® L&R/TOEIC® S&Wについては、TOEIC® S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ケンブリッジ英語検定は、Linguaskillを含む。

入試方式

公募推薦入試(総合評価型)には、5つの入試方式があり、志望する学部に合わせて選択することが可能です。
右ページの「科目・配点」とあわせてご確認ください。

スタンダード方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点と、調査書の点数(50点満点)(「全体の学習成績の状況」を10倍に換算したもの)の合計点で総合的に合否判定します。

英語資格試験利用方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、英語資格検定試験の点数(100点満点)(スコアを得点換算したもの【上記得点換算表】)と、指定する2科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

2科目方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

高得点科目重視方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、指定する2科目のうち、高得点1科目の得点を2倍に換算した得点(200点満点)と、残り1科目の得点の合計点で総合的に合否判定します。

英語重視方式

事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、英語の得点を3倍に換算した得点(300点満点)と、国語の得点の合計点で総合的に合否判定します。

理工学部※の高得点科目重視方式は、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と、数学または理科の得点を2倍に換算した得点(200点満点)と、英語の得点の合計点で総合的に合否判定します。

※2027年4月、「先端理工学部」より名称変更。

事前課題

公募推薦入試(総合評価型)のすべての入試方式に事前課題の提出が必要です(記入は1回のみで可)。
大学入学希望理由として次の内容を提出してください。

「本学の公募推薦入試(総合評価型)のアドミッション・ポリシーの内容をよく理解した上で、龍谷大学への入学を希望するあなたの志や熱意について記入してください。必ず200文字以上400文字以内で記入してください。」

科目・配点

	学部	入試方式	本学独自試験	調査書	英語資格試験	合計	事前課題
文系型	心理学部 文学部	スタンダード方式	英語100点 + 国語100点	+	50点	= 250点	大学入学 希望理由
	経済学部 経営学部 法学部 政策学部	英語資格試験 利用方式	英語100点 + 国語100点		+	100点 = 300点	
	国際学部 社会学部	2科目方式	英語100点 + 国語100点			= 200点 +	
	環境サステナビリティ学部※						
	情報学部※ ¹ 農学部 ¹	高得点科目重視方式	英語 + 国語のうち 高得点1科目200点 + 残り1科目100点			= 300点	
	文学部 ¹ 国際学部	英語重視方式	英語300点 + 国語100点			= 400点	

¹ 文学部は英語英米文学科のみ／農学部は食料農業システム学科のみ／情報学部※は情報学科実践データサイエンス専攻のみ ※出願資格はP18参照

※環境サステナビリティ学部・情報学部：2027年4月新設

	学部	入試方式	本学独自試験※2	調査書	英語資格試験	合計	事前課題
理系型		スタンダード方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点	+	50点	= 250点	大学入学 希望理由
		英語資格試験 利用方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点		+	100点 = 300点	
	環境サステナビリティ学部※ 情報学部※	2科目方式	英語100点 + 数学※1 or 理科100点			= 200点 +	
	理工学部※ 農学部	高得点科目重視方式 ¹	環境サステナビリティ学部※・農学部… 英語 + 数学※1 or 理科のうち 高得点1科目200点 + 残り1科目100点 情報学部※… 英語 + 数学※1のうち 高得点1科目200点 + 残り1科目100点 理工学部※… 英語100点 + 数学※1 or 理科200点			= 300点	

¹ 高得点科目重視方式は出願する学部によって計算方法が異なります。例えば、理工学部※と農学部の両方に出席し、英語100点、数学 or 理科50点を獲得した場合、事前課題である「大学入学希望理由」の内容と理工学部※では200点（英語100点 + 数学 or 理科100点）、農学部では250点（英語200点 + 数学 or 理科50点）で総合的に可否を判定します。

※環境サステナビリティ学部・情報学部：2027年4月新設／理工学部：2027年4月、「先端理工学部」より名称変更

※1：数学の試験内容は以下のとおりです。

数学	数学(1)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)
	数学(2)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)

※2：数学 or 理科における選択可能科目は以下のとおりです。試験当日に、出願した学科・課程・専攻の選択可能科目を解答してください。

入試型	学部	学科・課程・専攻	試験科目				
			1 限目 英語(70分)	2 限目 数学 or 理科(60分)			
				数学(1)	数学(2)	理科(化学)	理科(生物)
理系型	環境サステナビリティ学部※	環境サステナビリティ学科	○	○	○	○	○
	情報学部※	情報学科 情報メディア専攻・知能情報システム専攻(一括募集)	○	○	—	—	—
		情報学科 実践データサイエンス専攻	○	○	○	—	—
	理工学部※	数理・情報科学課程	○	○	—	—	—
		電子情報通信課程	○	○	—	—	—
		機械工学・ロボティクス課程	○	○	—	—	—
		応用化学課程	○	○	○	○	—
	農学部	生命科学科	○	○	○	○	○
		農学科	○	○	○	○	○
		食品栄養学科	○	○	○	○	○
		食料農業システム学科	○	○	○	○	○

※環境サステナビリティ学部・情報学部：2027年4月新設／理工学部：2027年4月、「先端理工学部」より名称変更

解答方式・試験時間・試験内容

入試方式により、受験が必要な教科・科目は異なります。
P.16の「入試方式」、P.17「科目・配点」とあわせてご確認ください。

文系型	英語	マーク式(70分) 10:40～11:50	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	国語	マーク式(60分) 13:10～14:10	現代の国語・言語文化・論理国語・古典探究（いずれも漢文除く）

※試験開始20分前の説明開始時刻までに指定の試験室に入室してください。

理系型	英語	マーク式(70分) 10:40～11:50	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ
	数学(1)	記述式(60分) 13:10～14:10	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）・数学B（数列）・ 数学C（ベクトル・平面上の曲線と複素数平面）
	数学(2)	記述式(60分) 13:10～14:10	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A（図形の性質・場合の数と確率）・数学B（数列）・数学C（ベクトル）
	理科	マーク式(60分) 13:10～14:10	化学（化学基礎・化学）、生物（生物基礎・生物）

※試験開始20分前の説明開始時刻までに指定の試験室に入室してください。

調査書

高等学校における学習成績（全体の学習成績の状況）を10倍に換算します。※スタンダード方式のみ

英語資格検定試験

P.16の〈英語資格検定試験 得点換算表〉をご確認ください。

出願資格・推薦基準

（出願資格）

次の①または②と、③に該当する者。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を、2024年度以降に卒業した者、および2027年3月卒業見込みの者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を、2024年度以降に卒業（修了）した者、および2027年3月卒業（修了）見込みの者。
- ③ 学業、人物、ともに優秀で、出身高等学校長もしくは中等教育学校長が推薦する者。

情報学部文系型に出願する場合は上記の①および③に加えて次の④および⑤に該当する者。

- ④ 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（または、理数数学Ⅰ・理数数学Ⅱ）を履修している者。
- ⑤ 次の(1)・(2)いずれかに該当する者
(1)「数学」（または、理数の数学に関する科目）の学習成績の状況（評定平均値）が4.0以上である。
(2)「数学」（または、理数の数学に関する科目）の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上かつ「情報Ⅰ」の学習成績の状況（評定平均値）が4以上である。

（推薦基準）

本学のアドミッション・ポリシー〔公募推薦入試（総合評価型）〕をよく理解しており、入学への志や熱意を有していると認められる者。
調査書に記載している学習成績の状況から、総合的な基礎学力および適性を有していると認められる者。

本学では以下の学校を2024年度以降に修了した者および2027年3月31日までに修了見込みの者については出願資格を認めています

【朝鮮高級学校：12校】

北海道朝鮮初中高級学校、東北朝鮮初中高級学校、茨城朝鮮初中高級学校、東京朝鮮中高級学校、神奈川朝鮮中高級学校、愛知朝鮮中高級学校、京都朝鮮中高級学校、大阪朝鮮高級学校、神戸朝鮮高級学校、広島朝鮮初中高級学校、山口朝鮮高級学校、九州朝鮮中高級学校

合否判定

公募推薦入試〔総合評価型〕

1. 各学部・学科・課程・専攻・領域において、入試型・方式毎に合否を判定します。
2. (1) スタンダード方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点に受験者の高等学校における学習成績（全体の学習成績の状況）の10倍（50点満点）を加算した点数、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。
(2) 英語資格試験利用方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点に、英語資格検定試験のスコア（100点満点）を加算した点数、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。
(3) 2科目方式・高得点科目重視方式・英語重視方式 受験者
事前課題を提出し、指定するすべての試験科目を受験した者を対象とし、①事前課題である「大学入学希望理由」の内容、②指定する教科・科目の合計点、これら①と②をもとに総合的に合否を判定します。
●情報学部※・理工学部※は、出願する課程により選択可能な科目に制限があります。不適切な科目を選択してしまうと、当該科目は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
例えば、理工学部※の数理・情報科学課程と応用化学課程に出願し、2時限目で「数学（2）」を選択解答した場合、応用化学課程は出席として扱いますが、数理・情報科学課程は欠席扱いとなり合否の判定対象となりません。
3. 教科・科目の点数については、試験日や選択科目間で「中央値補正法」等による得点調整を行います。中央値は50点。

※環境サステナビリティ学部・情報学部：2027年4月新設／理工学部：2027年4月、「先端理工学部」より名称変更